

平成20年度 第2回 理事会 議事録

平成20年10月7日(火) 於：県民交流館パレア

出席者 会長：中嶋 事務局長：大井 研究部長：藤本(午後退席)
理事：池上(荒玉) 三輪(鹿本) 松田(菊池) 土井(阿蘇) 藤川(熊本) 松本(上益城)
古川(宇城) 平木(八代) 信國(人球) 小島(水葦) 荒木(天草)
事務局員：上田、濱田(総務) 緒方、宮崎(事業) 片山、園川(会計)
北里、嶋原(情報調査)

I 開 会 II 会長挨拶 III 経過報告

議長選出 鹿本地区 三輪理事 (次回は阿蘇地区 土井理事)

IV 議 事

1 総会等について

- (1) 開会・大会行事等の役割分担について
- (2) ステージ設営配置図
- (3) 大会・総会行事等進行表
- (4) 定期総会議案書について

資料に沿って事務局より説明。

- ・県大会時の県教委行政説明は、県教委の依頼による知事部局の地域振興部からの説明となるため「県行政説明」となる。
- ・総会の議事の時間配分については、大会全体の運営及び時間的な制約上、スムーズな提案を心がけることとする。
- ・総会での議案は理事会案として会員に諮るものであるため、総会時の役割案のとおり、各理事が担当して提案することとする。各役員とも議案書の読み込みをしっかりとしておく。

(1)～(4)については、レジユメに添って説明、確認。

2 役割分担等について

- (1) 大会当日のタイムスケジュール
- (2) 具体的な業務内容とタイムスケジュール

資料に沿って事務局より説明。

- ・大会協力員への通知文は各理事を通して配布する。

(1)～(2)については、レジユメに添って説明、確認。

3 その他協議事項

(1) 標準的職務通知に向けての取組について

・学校人事課の担当者が替わられたことにより、昨年度までの取組の積み重ねが振り出しに戻った感があり、6月に改めて再度要望内容を説明し、さらに9月に標準職務表の必要性について説明と要請を行った。県教委からは、共同実施の状況を見てから考えたいという返事もあったが、早期の標準職務表の作成を要請した。今後、関係団体とも連携し、実現に向けて努力していく。

(2) 会長選考委員会について

・今年度の選考委員該当の理事で委員長を互選の上、次年度の会長選考等にあたることとする。

(3) 来年度の研究大会について

・平成21年度全事研大会（福岡大会）への参加体制によっては、県大会への参加人数の減少が予想される。第1回理事会に引き続き、来年度の県大会をどのように開催・運営するか各地区から出された意見・要望を協議した結果、下記のとおり決定した。

- ・分科会は設けず、総会と全体研究会のみの一日開催とする。
- ・期日については6月下旬で調整する。
- ・大会参加費については例年より廉価となるようにする。
- ・場所（会場）については、本日提示された候補会場をもとに事務局に一任する。

(4) 全事研福岡大会分科会発表について

・当日資料にて全事研分科会発表チーム(以下タスクチームと称する)より説明。
・タスクチームの事は会長が会報の中で紹介する。また、県大会当日の福岡からの全事研福岡大会PRのところでも触れる予定。

・タスクチームについて、前回出された予算の範囲内での会議の増加、メンバーの増員及び講師への謝金等訂正案について承認。

(5) 「学校財務ウィーク」について

・全事研から取り組み依頼を紹介。各地区での対応とする。
・福岡大会分科会発表の資料にするため、この取り組みに絡めて数校を抽出してアンケートを行いたいとタスクチームより提案あり、承認。

議長解任

4 その他連絡事項

- 1 全事研会報を10月中旬頃各地区に送付予定。
- 2 5月の全事研の財務調査に続き、10月中にもう一度調査予定。
- 3 表彰者の壇上表彰者の決定は事務局に一任。
- 4 標準職務表がある自治体について、各地区より報告。

(津奈木町・あさぎり町・和水町・水俣市・宇城市・嘉島町)

次回理事会期日 12月 日 (午後半日)

(水前寺共済会館)・・・事務局(総務)にて日程調整